



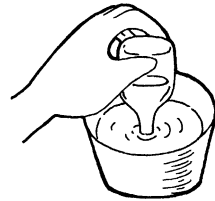
尿検査のお知らせ



茨木西高校 保健だより

尿検査は、腎臓や、膀胱（ぼうこう）が正しく働いているかを調べたり、糖尿病にかかっていないかを調べるための検査です。これらの病気は、自覚症状がありません。早期に発見して早く治療すれば、心配はいりません。大切な検査ですので、正しく確実に提出しましょう。

★上手な尿の取り方が、検尿袋の裏面に書いてあります。しっかり読んでから採尿してください。



5月1日(水) & 5月2日(木)

★登校後すぐに、**下足室前**に提出。
遅刻した生徒は、生活指導室に行く前に保健室に持ってくる。

提出についての注意

- ① **2時間目終了まで**には、必ず提出してください。
- ② 記名シールと提出用袋が別々になっています。提出袋と容器にそれぞれ **記名シールを貼るのを** 忘れないようにしてください。貼り方は裏面に!!
- ③ 採尿後はしっかり**キャップ**をしめて、紙袋に入れ、折り線のところで山折りにしてください。提出する時には、**ビニール袋には入れずに出してください。**



注目!

生理日と重なる人は、提出できません。その場合は必ず保健室に申し出てください。容器は各自で保管しておいてください。

次回：5月16日（木）

検尿の袋に、あなたの名前シールを貼り付けたら



それはあなただけのものです。今回、提出を忘れた場合は、**次回の提出日**に使用します。**なくさないように自分で大切に保管**しておいてください。

腎臓の働きについて簡単にお話しましょう。



食べ物や飲み物は、血液となって体中をめぐります。血液は、体の中の**不要物**や、有害な**老廃物**を受け取って、腎臓に運び込みます。その腎臓では・・・

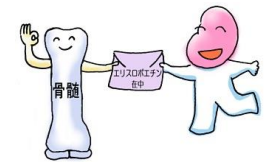
①尿を作り、体外へ排出します。

こしだされた水分の**99%**は、体に再吸収され、尿になるのは残りの**1%**。



②造血ホルモンを分泌します。

造血ホルモンを腎臓から骨髄に働きかけ、**赤血球**を作る。腎臓病が重くなると「**貧血**」の症状が出ます。



③骨を作るのに必要な**ビタミンD3**を生産します。

カルシウムを沈着させるための**ビタミンD**を**ビタミンD3**に変える働きをしているのが腎臓です。だから腎臓が悪くなると、「**骨が弱くなる**」等の症状が出ます。

ごみをあされば病気を発見できる?!



おしっこは「**ごみの溶け込んだ水?**」上記のように、全身の細胞で使われた**老廃物**や**不要物**の溶け込んだ水 = 「**ごみ**」がおしっこですね。

しかし、**ごみ**として出してはいけな**いもの**が、おしっこの中から出てきたら・・・?それは腎臓の機能に**何らかの異常**が起きていることを意味します。

だから、**不法投棄されたごみがないかどうか**、それを調べるのが**尿検査**です